

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成28年4月21日(2016.4.21)

【公開番号】特開2014-168571(P2014-168571A)

【公開日】平成26年9月18日(2014.9.18)

【年通号数】公開・登録公報2014-050

【出願番号】特願2013-41738(P2013-41738)

【国際特許分類】

A 6 1 B 6/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 6/00 3 0 0 X

A 6 1 B 6/00 3 0 0 D

【手続補正書】

【提出日】平成28年3月3日(2016.3.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

X線を発生するX線管と、

前記X線管により発生されたX線を検出するX線検出器と、

前記X線管と前記X線検出器とを複数の可動軸に関して回動自在に支持する支持部と、

前記支持部についての予め設定された少なくとも1つの姿勢に関する、前記複数の可動軸回りの回転角度により表現される角度情報を記憶する記憶部と、

前記少なくとも1つの姿勢に対応する少なくとも1つの第1の角度アイコンを、前記支持部の姿勢を規定する前記複数の可動軸に基づく座標系で表現して表示する表示部と、

を具備するX線診断装置。

【請求項2】

前記支持部を駆動する駆動部と、

前記少なくとも1つの第1の角度アイコンのうちのユーザにより指定された角度アイコンに対応する姿勢に前記支持部を配置するために前記駆動部を制御する制御部と、をさらに備える、

請求項1記載のX線診断装置。

【請求項3】

判定部と報知部とをさらに備え、

前記判定部は、前記支持部が前記指定された角度アイコンに対応する姿勢に配置可能であるか否かを、前記支持部の現在の姿勢と可動範囲とに基づいて判定し、

前記報知部は、前記判定部により前記指定された角度アイコンに対応する姿勢に配置可能でないと判定された場合、その旨を報知し、

前記制御部は、前記判定部により前記指定された角度アイコンに対応する姿勢をとることが可能であると判定された場合、前記支持部を前記指定された角度アイコンに対応する姿勢をとるように前記駆動部を制御する、請求項2記載のX線診断装置。

【請求項4】

前記支持部の現在の姿勢に関する第2の角度情報を検出する検出部をさらに備え、

前記表示部は、前記第2の角度情報に対応する第2の角度アイコンを、前記少なくとも1つの第1の角度アイコンとともに表示する、請求項1記載のX線診断装置。

**【請求項 5】**

前記表示部は、前記第1の角度アイコンと前記第2の角度アイコンとを異なる態様で表示する、請求項4記載のX線診断装置。

**【請求項 6】**

前記座標系は、横軸がCRA/CAUに規定され、縦軸がLAO/RAOに規定された直交2次元座標である、請求項1記載のX線診断装置。

**【請求項 7】**

前記表示部は、前記少なくとも1つの第1の角度アイコンとともに、前記少なくとも1つの角度アイコンに対応する姿勢において過去に撮影されたX線画像を表示する、請求項1記載のX線診断装置。

**【請求項 8】**

前記表示部は、前記少なくとも1つの第1の角度アイコンの中からユーザにより任意の角度アイコンが指定された場合、前記任意の角度アイコンに対応する姿勢において過去に撮影されたX線画像を、前記指定された角度アイコンとともに表示する、請求項7記載のX線診断装置。

**【請求項 9】**

前記表示部は、前記少なくとも1つの第1の角度アイコンとともに、前記少なくとも1つの角度アイコンに対応する姿勢をとる前記支持部を表現する略図を表示する、請求項1記載のX線診断装置。

**【請求項 10】**

前記表示部は、前記少なくとも1つの第1の角度アイコンの中からユーザにより任意の角度アイコンが指定された場合、前記任意の角度アイコンに対応する姿勢をとる前記支持部を表現する略図を、前記指定された角度アイコンとともに表示する、請求項9記載のX線診断装置。

**【請求項 11】**

前記表示部は、前記支持部が可動不能又は可動可能な角度範囲を明示する、請求項1記載のX線診断装置。

**【請求項 12】**

X線を発生するX線管と、

前記X線管により発生されたX線を検出するX線検出器と、

前記X線管と前記X線検出器とを複数の可動軸に関して回動自在に支持する支持部と、前記支持部を駆動する駆動部と、

前記支持部についての予め設定された少なくとも1つの姿勢を視覚的に表現する少なくとも1つの模式画像を記憶する記憶部と、

前記少なくとも1つの模式画像を表示する表示部と、

前記少なくとも1つの模式画像のうちのユーザにより指定された模式画像に対応する姿勢に前記支持部を配置するために前記駆動部を制御する制御部と、を具備するX線診断装置。

**【手続補正2】**

**【補正対象書類名】**明細書

**【補正対象項目名】**0011

**【補正方法】**変更

**【補正の内容】**

**【0011】**

一実施形態に係るX線診断装置は、X線を発生するX線管と、前記X線管により発生されたX線を検出するX線検出器と、前記X線管と前記X線検出器とを複数の可動軸に関して回動自在に支持する支持部と、前記支持部についての予め設定された少なくとも1つの姿勢に関する、前記複数の可動軸回りの回転角度により表現される角度情報を記憶する記憶部と、前記少なくとも1つの姿勢に対応する少なくとも1つの第1の角度アイコンを、前記支持部の姿勢を規定する前記複数の可動軸に基づく座標系で表現して表示する表示部

と、を具備する。